

第39回日本実験動物技術者協会九州支部総会

主催：日本実験動物技術者協会九州支部
協力：熊本大学

期日：平成28年4月23日（土）

場所：熊本大学 医学部 医学教育図書棟 3階第1講義室
〒860-8556 熊本県熊本市中央区本荘1-1-1

会費：会員：無料・非会員：1,000円

- 9:00～9:10 開会の辞 渡邊一貴((株)KBTオリエンタル)
支部長挨拶 野口和浩(熊本大学大学院生命科学研究部)
祝辞 鳥越大輔(熊本大学生命資源研究・支援センター)
- 9:10～10:20 飼育管理部会(I)
「大学・企業における実験動物関連職員の雇用形態および教育・研修の現状と
その問題点について考える」
座長 北嶋修司(佐賀大学)
1. 鹿児島大学動物実験施設における職員雇用形態の現状と問題点
瀬戸山健太郎(鹿児島大学自然科学教育研究支援センター)
2. 生産施設における新入社員及び職員の教育研修の現状
小野洋充(九動(株)生産・技術開発本部IBL生育所)
3. 株式会社ケー・エー・シーの技術継承システムについて
清水大((株)ケー・エー・シー 技術研修所)
- 10:20～10:25 休憩
- 10:25～11:25 特別講演
司会 野口和浩(熊本大学)
「ゲノム編集の基本原則と限らない可能性」
山本卓(広島大学大学院理学研究科数理分子生命理学専攻)
- 11:25～11:30 休憩
- 11:30～12:00 実験動物技術トピックス
司会 中村直子(熊本大学)
「小動物RI分子イメージングについて」
古嶋昭博(熊本大学生命資源研究・支援センター RI実験分野)
- 12:00～13:00 ランチョンセミナー
「実験動物施設におけるオゾンを用いた殺菌消毒について」
～オゾン機器やオゾンを用いた動物施設クリーンアップ実施例の紹介～
川辺敏晃、岩瀬 聖、柳 美穂(アーク・リソース株式会社)
- 13:00～13:05 休憩
- 13:05～13:45 第39回九州支部総会
- 13:45～13:50 休憩
- 13:50～15:10 教育講演(第379回本部共催)
司会 鳥越大輔(熊本大学)
1. 実験動物のマウス、ラットにおける微生物感染の現状
林元展人(公益財団法人実験動物中央研究所 ICLASモニタリングセンター)
2. マウス・ラット等の消化管内寄生虫について
長谷川英男(大分大学・医学部・感染予防医学)
- 15:10～15:20 休憩
- 15:20～16:00 飼育管理部会(II)
「実験動物のよりよい飼育環境での維持を目指して」
司会 山本直土(長崎大学)
1. 熊本大学における免疫不全動物の飼育管理方法の紹介
中村直子(熊本大学生命資源研究・支援センター)
2. 宮崎大学における蟻虫駆除の実施例の紹介(仮題)
七条宏樹(宮崎大学フロンティア科学実験センター)
- 16:00～ 閉会の辞 牧 宏信(大分大学)